

## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日  
上場取引所 東

上場会社名 SBIインシュアランスグループ株式会社  
 コード番号 7326 URL <https://www.sbiig.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員会長兼社長 (氏名) 乙部 辰良  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 大和田 徹 TEL 03(6229)0881  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	16,428	△0.4	1,010	45.3	619	42.0
2019年3月期第1四半期	16,492	—	695	—	436	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 4,527百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 147百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	27.16	—
2019年3月期第1四半期	23.19	—

(注) 1. 2019年3月期第1四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2018年6月26日付で普通株式1株につき30株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	178,686	42,978	24.0
2019年3月期	173,587	38,450	22.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 42,843百万円 2019年3月期 38,317百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2020年3月期の配当予想額については未定であります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	3.9	2,400	12.6	870	2.2	38.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 本日公表の「2020年3月期の連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
 新規 1社 （社名） 日本アニマル倶楽部株式会社、 除外 1社 （社名） ー  
 （注）添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 （3） 連結範囲の変更に関する説明」をご参照ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	22,820,530株	2019年3月期	22,820,530株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	43株	2019年3月期	1株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	22,820,516株	2019年3月期1Q	18,820,530株

（注）当社は、2018年6月26日付で普通株式1株につき30株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結範囲の変更に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

※ 当社Webサイトに決算情報の補足説明資料を掲載しておりますので、ご参照ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(以下、当第1四半期)における当社グループの経営成績は、経常収益が16,428百万円(前年同期比0.4%減少)、経常利益が1,010百万円(同45.3%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益が619百万円(同42.0%増加)となりました。

経常収益については、すべての事業における保有契約件数が前年度末比で堅調に増加したものの、生命保険事業における変額個人年金保険の年金や解約返戻金の支払いが前年同期を下回ったことにより、特別勘定(※)における責任準備金戻入額などの経常収益が前年同期に比べ931百万円減少したことが主な要因となり、前年同期に比べ63百万円減少(前年同期比0.4%減少)しました。

なお、前年同期及び当第1四半期の経常収益から契約者に帰属する特別勘定に係る経常収益を除き比較すると、当第1四半期の経常収益は、前年同期に比べ867百万円増加(前年同期比5.7%増加)しております。

(※) 変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益及び経常費用に含めて表示します。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(単位:百万円)

	経常収益			セグメント利益(経常利益)		
	第1四半期連結累計期間		増減率 (%)	第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	2019年3月期	2020年3月期		2019年3月期	2020年3月期	
損害保険事業	7,069	7,382	4.4	557	396	△28.9
生命保険事業	5,291	4,450	△15.9	74	593	694.9
少額短期保険事業	4,165	4,625	11.0	173	181	4.5
報告セグメント計	16,526	16,458	△0.4	806	1,171	45.3
セグメント間消去又は調整	△34	△29	—	△110	△161	—
四半期連結損益計算書計上額	16,492	16,428	△0.4	695	1,010	45.3

(注) セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

(損害保険事業)

自動車保険やがん保険では、新規契約にあたってのご紹介キャンペーンの展開や新テレビCMのオンエア開始などに取り組み、販売プロモーションの強化に努めました。また、事業法人、及び地域金融機関の開拓にも継続的に取り組み、インターネットを中心としたダイレクト販売以外の販路強化にも取り組みました。こうした取り組みの結果、2019年6月末の保有契約件数は1,075千件(前年度末比2.3%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことなどにより、7,382百万円(前年同期比4.4%増加)となりました。一方、セグメント利益は、保険金支払いの増加等を受け396百万円(同28.9%減少)となりました。

(生命保険事業)

2019年4月に、死亡保険『クリック定期!』の保険期間・保険料払込期間を大幅拡充し、『クリック定期! Neo』としてリニューアルしました。また、団体信用生命保険については、引き続き、住信SBIネット銀行株式会社が提供する住宅ローンのご利用者様向けの販売が堅調に推移したことに加えて、地方銀行等の地域金融機関での販売拡大に向け提携交渉を推進しました。こうした取り組みの結果、2019年6月末の保有契約件数は145千件(前年度末比3.2%増加)となりました。

経常収益は、前述のとおり、保有契約件数が堅調に増加したものの、特別勘定における責任準備金戻入額などの経常収益が前年同期に比べ931百万円減少したことが主な要因となり、4,450百万円(前年同期比15.9%減少)となりました。一方、セグメント利益は、保有契約件数の増加と資産運用に係る損益の改善などにより、593百万円(同694.9%増加)となりました。

(少額短期保険事業)

少額短期保険事業においては、グループ各社間でのクロスセリングによる商品ラインナップの充実に加え、各社の事業基盤の強化にも取り組みました。SBIいきいき少額短期保険株式会社では、2018年7月に宮崎県宮崎市内に開設した事務所を、業務拡大に伴い増床し、「宮崎ビジネスセンター」としてリニューアルオープンしました。また、SBI日本少額短期保険株式会社は、2019年4月より東京本社を設置し、東日本での営業基盤の強化に加え、SBIグループ内での連携強化に取り組みました。こうした取り組みの結果、2019年6月末の保有契約件数は688千件（前年度末比2.0%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数の増加などにより、4,625百万円（前年同期比11.0%増加）となりました。セグメント利益は、増収効果もあり181百万円（同4.5%増加）となりました。

また、当第1四半期の四半期包括利益については、生命保険子会社（SBI生命保険株式会社）における有価証券の保有目的の変更に伴い、その他有価証券評価差額金が3,134百万円増加したことなどもあり、4,527百万円（同2,960.3%増加）となりました。

生命保険子会社における有価証券の保有目的変更の理由及び四半期連結財務諸表に与える影響については次のとおりであります。

<有価証券の保有目的の変更について>

従来、生命保険子会社は、個人保険に設定した小区分（保険種類・資産運用方針等により設定）に対応した債券のうち、負債に応じたデュレーションのコントロールを図る目的で保有するものについて、「保険業における「責任準備金対応債券」に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第21号。以下、「業種別監査委員会報告第21号」という。）に基づき、責任準備金対応債券に区分しておりました。

当第1四半期において、生命保険子会社は昨今の国内外の金利動向を踏まえ、機動的な運用による資産運用収益獲得機会の拡大やより現状に即したALM（資産及び負債の総合管理）の実践を目的としてALM方針を見直しております。これに伴い、責任準備金対応債券の一部について、「業種別監査委員会報告第21号」第6項(3)①に該当する目標デュレーション達成を意図しない売却を行っております。また、同様にALM方針の見直しに伴い、生命保険子会社は満期保有目的の債券の一部を売却しております。このため、残るすべての責任準備金対応債券及び満期保有目的の債券について、保有目的区分をその他有価証券に変更しております。

これらの保有目的の変更により、有価証券が4,353百万円増加、繰延税金負債が1,218百万円増加、その他有価証券評価差額金が3,134百万円増加しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、178,686百万円（前年度末比5,099百万円増加）となりました。主な勘定残高は、有価証券126,675百万円（同3,056百万円増加）、現金及び預貯金26,090百万円（同1,594百万円減少）であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、135,708百万円（同571百万円増加）となりました。主な勘定残高は、保険契約準備金123,759百万円（同216百万円減少）であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、42,978百万円（同4,527百万円増加）となりました。主な増加要因は、有価証券の保有目的の変更による増加を含むその他有価証券評価差額金の増加3,905百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が619百万円増加したことです。

(3) 連結範囲の変更に関する説明

2019年6月28日公表の「（開示事項の経過）当社子会社による日本アニマル倶楽部株式会社の株式取得（孫会社化）完了に関するお知らせ」のとおり、当社の子会社であるSBI少短保険ホールディングス株式会社は、同日にペット保険を販売する日本アニマル倶楽部株式会社（以下、日本アニマル倶楽部）の発行済株式の全てを取得いたしました。これにより、当社は当第1四半期連結会計期間末から日本アニマル倶楽部を連結範囲に含めております。

なお、日本アニマル倶楽部の資本金の額が、当社の資本金の額の100分の10以上に相当することから、日本アニマル倶楽部は当社の特定子会社に該当します。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想については、本日（2019年8月8日）公表の「2020年3月期の連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	27,685	26,090
買入金銭債権	200	200
金銭の信託	3,090	3,115
有価証券	123,618	126,675
貸付金	303	263
有形固定資産	387	469
建物	164	223
リース資産	58	52
その他の有形固定資産	164	192
無形固定資産	3,620	7,519
ソフトウェア	2,993	3,067
のれん	625	3,497
その他の無形固定資産	1	954
代理店貸	217	133
再保険貸	3,578	3,315
その他資産	9,303	9,198
繰延税金資産	87	110
支払承諾見返	1,500	1,600
貸倒引当金	△4	△4
資産の部合計	173,587	178,686
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	123,975	123,759
支払備金	15,613	15,779
責任準備金	107,644	106,977
契約者配当準備金	717	1,002
代理店借	257	142
再保険借	3,401	3,540
その他負債	5,517	4,585
退職給付に係る負債	19	33
価格変動準備金	452	474
繰延税金負債	12	1,572
支払承諾	1,500	1,600
負債の部合計	135,136	135,708
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,236	7,236
資本剰余金	30,922	30,922
利益剰余金	1,567	2,187
自己株式	—	△0
株主資本合計	39,725	40,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,407	2,498
その他の包括利益累計額合計	△1,407	2,498
新株予約権	21	21
非支配株主持分	111	112
純資産の部合計	38,450	42,978
負債及び純資産の部合計	173,587	178,686

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
経常収益	16,492	16,428
損害保険事業	7,057	7,369
保険引受収益	6,925	7,100
正味収入保険料	6,922	6,506
積立保険料等運用益	3	3
責任準備金戻入額	—	590
資産運用収益	110	237
その他経常収益	20	30
生命保険事業	5,286	4,444
保険料等収入	2,043	2,409
保険料	1,799	2,048
再保険収入	244	360
資産運用収益	1,475	1,085
利息及び配当金等収入	752	635
有価証券売却益	88	209
金融派生商品収益	—	161
為替差益	571	—
その他運用収益	0	0
特別勘定資産運用益	62	79
その他経常収益	1,767	949
少額短期保険事業	4,149	4,615
保険料等収入	4,124	4,516
資産運用収益	0	0
その他経常収益	24	98
経常費用	15,797	15,418
損害保険事業	6,499	6,961
保険引受費用	4,834	5,056
正味支払保険金	4,187	4,665
損害調査費	817	900
諸手数料及び集金費	△925	△586
支払備金繰入額	391	77
責任準備金繰入額	363	—
資産運用費用	41	31
営業費及び一般管理費	1,621	1,870
その他経常費用	1	2

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
生命保険事業	5,200	3,855
保険金等支払金	3,474	2,805
保険金	270	615
年金	776	340
給付金	261	269
解約返戻金	1,481	824
その他返戻金	371	332
再保険料	313	421
資産運用費用	968	192
支払利息	0	0
有価証券売却損	235	8
金融派生商品費用	722	—
為替差損	—	172
その他運用費用	10	10
事業費	737	828
その他経常費用	19	28
少額短期保険事業	3,986	4,439
保険金等支払金	2,413	2,621
責任準備金等繰入額	41	66
事業費	1,525	1,727
その他経常費用	6	24
その他	110	161
経常利益	695	1,010
特別損失	19	22
価格変動準備金繰入額	19	22
契約者配当準備金繰入額	121	285
税金等調整前四半期純利益	555	701
法人税及び住民税等	95	75
法人税等調整額	14	3
法人税等合計	109	79
四半期純利益	445	622
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	436	619



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	445	622
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△297	3,905
その他の包括利益合計	△297	3,905
四半期包括利益	147	4,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139	4,525
非支配株主に係る四半期包括利益	8	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注)1						
外部顧客への経常収益	7,057	5,286	4,149	16,492	—	16,492
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	12	4	16	34	△34	—
計	7,069	5,291	4,165	16,526	△34	16,492
セグメント利益(注)3	557	74	173	806	△110	695

(注)1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△110百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注)1						
外部顧客への経常収益	7,369	4,444	4,615	16,428	—	16,428
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	13	5	10	29	△29	—
計	7,382	4,450	4,625	16,458	△29	16,428
セグメント利益(注)3	396	593	181	1,171	△161	1,010

(注)1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△161百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

少額短期保険業を営む日本アニマル倶楽部株式会社の子会社化により、少額短期保険事業におけるのれんが2,882百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。